

今月の技術対策 (畜産編FAX情報)

留萌農業改良普及センター・留萌地区農協酪農畜産対策協議会

TEL : 0164-62-1779 FAX : 62-2474

E-mail: rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp



その他情報も
HPで公開中!

衛生的乳質改善 その⑤ ～伝染性乳房炎:黄色ブドウ球菌対策～

黄色ブドウ球菌 (SA) は伝染力が強いため、しっかりとした対策をとらないと、牛群に感染が広がります。是非みなさんの農場でも、SAが原因の乳房炎を改善しましょう。

(1) 対策の流れ

① 状況把握

バルク乳などの体細胞数が継続して高い場合、牛群内にSA罹患牛が存在している可能性があります。

もし陽性だった場合は、どの個体や分房がSAに感染しているか特定します。

② 治療および淘汰

初産・二産牛であれば治癒する可能性が高いが、治療効果の低い牛は、感染分房を盲乳にすることや淘汰を検討しましょう。

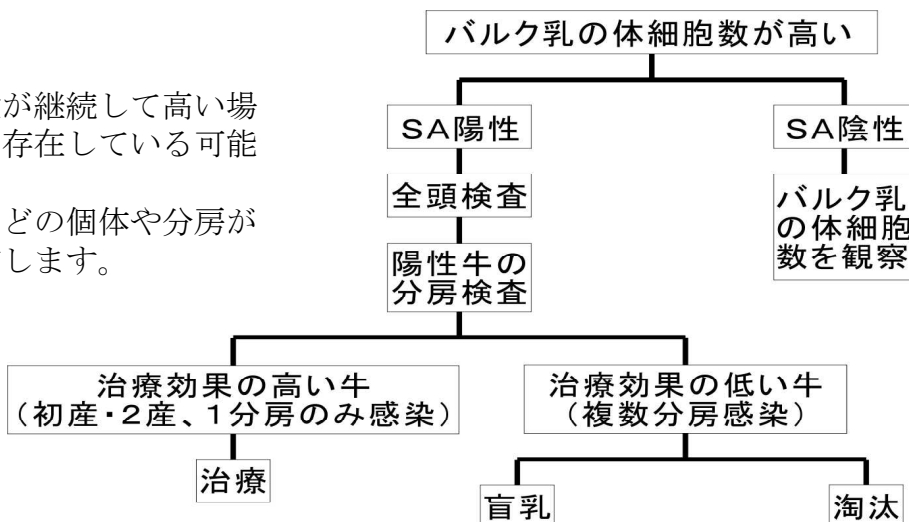


図1 黄色ブドウ球菌対策の流れ

(2) SAの予防

- ① ミルカーを介して牛群に伝染しないよう、SAに感染している牛を最後に搾乳しましょう。
- ② 搾乳手袋を使用して、手を衛生に保ち、人間からの感染を防ぎましょう(図2)
- ③ 搾乳頭数以上のタオルを用意し、タオルの使い回しによる伝染を防ぎましょう。
- ④ SAは傷口に繁殖するため、ミルカーの掛けすぎで乳頭先端が傷まないように注意しましょう。
- ⑤ 殺菌・粘膜保護を目的に、ミルカー離脱後すぐにディッピングしましょう。とくにスプレータイプは、乳頭全体に薬剤がかかるように注意しましょう(図3、4)



図2 搾乳手袋

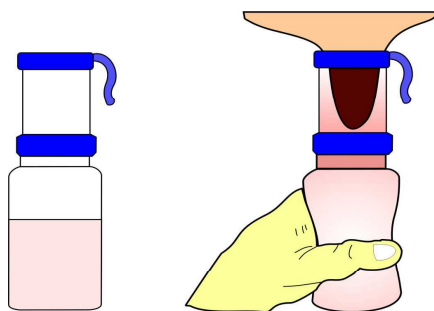


図3 ノンリターンタイプディッパー
乳頭の2/3以上浸す

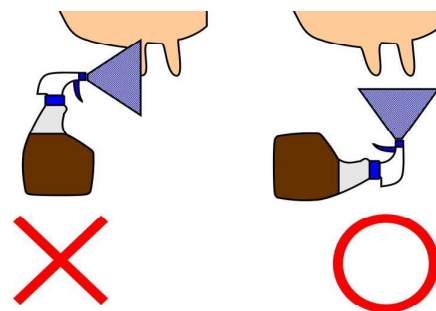


図4 スプレータイプのディッパー
左は乳頭側面しかかかっていない